

(3) 成果と課題及び指導改善のポイント

中学校国語（中学2年生）


成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 話合いの話題や方向性を捉えて的確に話したり、相手の発言を整理しながら聞いたりすることができている。 (1-三)
- ◇ 平成30年度[12月調査]^{*}で「おおむね達成」を下回っていた「文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること」に改善の傾向が見られる。 (4-一)
- ◆1 書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすることに課題が見られる。 (2-三)
- ◆2 会話描写に注意して読みながら内容を理解し、自分の考えをもつことに課題が見られる。 (3-二)
- ◆3 文章の表現の特徴について自分の考えをもつことに課題が見られる。 (4-二)

*平成30年度佐賀県小・中学校学習状況調査[12月調査]Web 報告書 参照

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみましょう。）

- ◆1 書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 表記や語句の用法だけでなく、主語・述語や修飾・被修飾の関係に誤りがないか、事実と意見を書き分けているかなど、文を修正する際の視点を具体的に示し、推敲に必要な知識や技能を身に付けることができるように指導していますか。
 - 読み手に分かる語句や文の使い方になっているか、取り上げた事例は分かりやすいかなど、読み手の立場から見直すことができるように指導していますか。
 - 書いたものについて、生徒自身が読み直すだけでなく、推敲の手引きなどを基にして、互いに修正したり訂正したりするような活動を授業に位置付けていますか。
- ◆2 会話描写に注意して読みながら内容を理解し、自分の考えをもつ力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 人物像を捉えたり、登場人物の心情や作者の思いを想像したりする場面で、自分の考えの根拠を描写と照らし合わせて明らかにするよう指導していますか。
 - 印象に残った場面や描写を取り上げ、なぜその場面や描写が印象に残ったのかを具体的に説明するような活動を授業に位置付けていますか。
 - 話の展開において重要な意味をもつと考えた登場人物の言動を紹介して、その根拠を話し合うような活動を授業に位置付けていますか。
- ◆3 文章の表現の特徴について自分の考えをもつ力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 文章の内容を正確に理解するだけでなく、どのような文章構成になっているか、どのような表現技法が用いられているかなど、表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果についても考えることができるように指導していますか。
 - 文章の表現の特徴について考える際に、文章のどの表現を基にそう考えたのか、自分の考えの根拠となる表現を示すことができるように指導していますか。
 - 同じテーマで書かれた複数の文章を比較しながら読み、それぞれの文章の構成や展開、表現の特徴について、他の人と考えを交流するような活動を授業に位置付けていますか。

 他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

■ 設問の概要と結果

	出題の趣旨（出題方法）	設問の内容	県正答率	十分達成
問4 2	文章の表現の特徴について自分の考えをもつ。（選択式）	文章の表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果がどれに当たるかを選択する。	30.0	70.0
			無解答率	おおむね達成
			1.3	50.0

【正答】ア 問いかけをして読み手と課題を共有することで、興味をもって読ませようとしている。

■ 誤答例と解説

生徒の解答状況を分析した結果、次のような誤答傾向が見られました。

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
「イ 最初と最後で同じ意見を繰り返すことで、読み手に筆者の考えを正確に伝えようとしている」と解答している。	「ウ 文末を『～である』と断定的な表現に統一することで、筆者の考えを強調しようとしている」と解答している。	「エ よく知られている具体例を文章中に多用することで、読み手の関心を高めようとしている」と解答している。
同じ意見を繰り返すことでどのような効果が生まれるかということは理解できていると思われるが、最初と最後の部分を比較して読み、同じ意見が述べられているかどうかを考慮することができていない。	断定的な表現をすることでどのような効果が生まれるかということは理解できていると思われるが、「断定的な表現に統一する」とはどういうことが理解できていない。	具体例を用いることでどのような効果が生まれるかということは理解できていると思われるが、文中にどのような具体例が挙げられているのかを吟味することができていない。


■ 改善・充実に向けて

文章の表現の特徴について自分の考えをもつことができるようにするためには、授業中に、次のような活動を設定することが大切です。

① 同じテーマで書かれた複数の文章を比較して読み、どのような表現の特徴があるか考える。

二つの文章には、それぞれどのような特徴がありますか。

文章 A



この図を見てほしい。
一つは、
二つある。
そう言える理由は
〇〇は△△だ。
〇〇は△△だ。

文章 B

〇〇といわれると、何が思い浮かぶだろうか。
〇〇の影響
〇〇の解決策
私たちの未来

文章Aには、図があります。

文章Aは、最初に結論を述べて、その理由を説明した後、最後にもう一度結論を述べています。

文章Bは、内容のまとめりごとに見出しが付けてあります。

② 表現の特徴について、その工夫と効果について話し合う。

文章を工夫することで、どのような効果があると思うか、話し合ってみましょう。

文章の最初と最後に結論を述べると、筆者の考えがより伝わってくる気がします。

見出しがついていると、どのような内容が書かれているのか推測できてよいと思います。